

第4回横浜シーサイドトライアスロン大会 報告書



大会名称	第4回横浜シーサイドトライアスロン大会
開催日	平成25年9月29日(日) 競技 9:30~13:30/交通規制 9:00~13:00
会場	横浜・八景島シーパラダイス、横浜市海の公園、金沢工業団地周辺
主催	横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会 【構成団体】 (公社)日本トライアスロン連合、神奈川県トライアスロン連合、横浜市トライアスロン協会、横浜市、 (公財)横浜市体育協会、(株)日刊スポーツ新聞社、横浜金沢産業連絡協議会、(株)横浜八景島、 日本発条(株)、横浜新都市交通(株)、金沢区町内会連合会、横浜金沢観光協会、 (公財)横浜市緑の協会、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、(一社)横浜港振興協会、 (公財)横浜観光コンベンション・ビューロー
主管	神奈川県トライアスロン連合、横浜市トライアスロン協会
後援	観光庁、神奈川新聞社、NHK横浜放送局、tvk、FMヨコハマ、ラジオ日本
協賛	イオン、コカ・コーラ セントラル ジャパン、横浜・八景島シーパラダイス、 横浜市緑の協会 海の公園管理センター、セージ、エバラ食品工業、東洋信号通信社、 ミツハシライス、ファンケル、TYR、アーツスポーツ、大和物産、タマノイ酢、 スポーツクラブNAS、日本バナナ輸入組合、山崎製パン、横浜ベイサイドマリーナ、 フォトクリエイト、想いDEフォト、ハイボタ
公認	(公社)日本トライアスロン連合
競技内容	◆トライアスロン 一般の部・リレーの部(25.4km) スイム:0.4km×1周回 バイク:5.0km×4周回 ラン:2.5km×2周回 ◆アクアスロン 一般の部、男女ペアの部(5.4km) スイム:0.4km×1周回 ラン:2.5km×2周回 ◆アクアスロン ペアチャレンジの部 大人+小学校低学年(1.2km) スイム:0.2km×1周回 ラン:1.0km×1周回 ◆アクアスロン ペアチャレンジの部 大人+小学校高学年(2.2km) スイム:0.2km×1周回 ラン:2.0km×1周回
参加料	◆トライアスロン 一般の部:15,000円、リレーの部:21,000円/1組 ◆アクアスロン 一般の部:7,500円 男女ペアの部:5,000円 ペアチャレンジの部:5,000円
説明会	前日競技説明会 日時:平成25年9月28日(土) ①13:30~ ②14:30~ ③15:30~ ④16:30~ 会場:ホテルシーパラダイスイン 説明者:神奈川県トライアスロン連合
セミナー	初心者のためのトライアスロンセミナー 日時:平成25年9月28日(土) ①14:30~ ②15:30~ ③16:30~ 講師:若杉 摩耶文(湘南ベルマーレトライアスロンチーム 育成コーチ)
ゲスト	上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター) ロンドンオリンピック トライアスロン 日本代表 2012年 日本選手権(2012/東京港)優勝(過去2回優勝) 2013年 世界デュアスロン選手権(2013/カリ) 優勝

【スポンサー】



【助成金】 子どもスポーツ基金



開催日 平成25年9月29日(日) 競技 9:30~13:30/交通規制 9:00~13:00

気象条件 天候:晴れ、気温:21.1℃(9時現在)、水温:23.4℃(7時現在)

参加者数 944名(完走者数:855名)

観戦者数 12,600名(八景島:10,000名、金沢工業団地:600名、横浜市海の公園:2,000名)
※参考 横浜・八景島シーパラダイス大会当日来場者数:24,000名

◆ エントリー【エントリー期間 平成25年6月27日(木)~8月6日(火) ※先着順】、出走・完走数

種目	カテゴリー	エントリー数	出走数	完走数	完走率
トライアスロン	一般	763名	677名	615名	90.8%
	リレー	150名/50組	152名/51組 (ゲストチーム含む)	131名/44組	86.3%
アクアスロン	一般	69名	63名	57名	90.4%
	バラ	1名 (ガイド2名)	1名 (ガイド2名)	1名 (ガイド2名)	100%
	男女ペア	14名/7組	12名/6組	12名/6組	100%
	ヘア チャレンジ	36名/18組 (伴走3名)	34名/17組 (伴走3名)	34名/17組 (伴走3名)	100%
合計		1,038名	944名	855名	90.5%

◆ 救護関係

- ・病院搬送 1件
- ・その他救護対応 54件(擦過傷、打撲など)

◆ スイムスキップ

- ・トライアスロン一般 :13名(内、受付時3名、医師の間診により5名、スイム会場での申し出5名)
- ・アクアスロン一般 :1名

◆ 大会従事者数(事務局及び協力関係者) 579名

従事者	人数	内訳
主催団体	51名	実行委員会 (横浜市、横浜市体育協会、日本トライアスロン連合、日刊スポーツ など)
スポーツ推進委員	205名	各区スポーツ推進委員
大会運営スタッフ	61名	設営業者、運営業者、司会者、MC など
競技運営スタッフ	107名	神奈川県トライアスロン連合、横浜市トライアスロン協会、 ライフセーバー、計時計測、バイクメンテナンス など
メディカルスタッフ	56名	医師・看護師(横浜市医師会・市内救急医療機関)、救急救命士(横浜市救急救命士会)、湘南医療福祉専門学校
関係・協力団体	22名	警察、消防、海上保安庁、水道局、港湾局、施設関係(マリーナ、八景島、海の公園管理事務所)
ボランティアスタッフ	77名	よこはま2002ボランティアの会、かながわスポーツボランティアバンク、 日体大トライアスロン部、横浜国立大学トライアスロン部
合計	579名	

◆ 前日受付

会場：横浜・八景島シーパラダイスイベント広場
 時間：13:00～16:30
 人数：200名

◆ 競技説明会

会場：ホテルシーパラダイスイン
 時間：①13:30～14:20 ②14:30～15:20 ③15:30～16:20 ④16:30～17:20
 人数：200名
 説明者：神奈川県トライアスロン連合
 トライアスロンの競技規則及びレースの注意点、安全対策について神奈川県トライアスロン連合の審判から説明をしました。



◆ 初心者のためのトライアスロンセミナー

会場：ホテルシーパラダイスイン
 時間：①14:30～15:20 ②15:30～16:20 ③16:30～17:20
 人数：100名
 講師：若杉 摩耶文 (湘南ベルマーレトライアスロンチーム 育成コーチ)

トライアスロンに出場するための心構え、本大会のコースの特徴、前日から当日の流れ(事前準備からフィニッシュまで)などを説明しました。また、スイムが苦手な方が多かったのでスイムの話をもめに行い、参加者の不安や心配を少しでも解消させるよう努めました。



◆ 選手受付・問診チェック・準備体操・競技説明会 7:30~9:00

安全対策の一つとして、医師・看護師やライフセーバー、救急救命士、審判員との連携を強化しました。また、レース前の競技説明会後には、金沢スポーツセンター職員による準備体操を実施しました。



◆ オープニングセレモニー 9:00~9:10

江口桃子さんを総合MCに迎え、岩城光英公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)会長をはじめ、協賛会社の代表の方に参列いただき開催しました。

同じくMCの楠里紗さん、上田藍選手、前日の初心者のためのトライアスロンセミナー講師の若杉摩耶文コーチの紹介もオープニングセレモニーで行いました。



◆トライアスロン・アクアスロン 9:30～13:30

コース沿道からの応援や声援を力に、参加者は力強くレースに挑んでいました。フィニッシュする時の笑顔は、どの選手も本当に輝いていました。





◆ ゲストチーム (岩城光英JTU会長、上田藍選手)

トライアスロンのリレーの部には、ゲストチームとして「スイム上田選手」⇒「バイク岩城会長」⇒「ラン上田選手」に参加して、大会を盛り上げていただきました。



◆ トークショー・表彰式 13:30~14:30

トークショーでは、上田藍選手にレースの感想や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定の感想などを話していただきました。

表彰式は、協賛企業から多くの賞品のご提供をいただき、入賞者へ贈られました。



◆ 横浜子どもスポーツ基金スポーツ交流事業

アクアスロンペアチャレンジの部において、障害のある子どもたちがランニングに挑戦し、レース後に上田選手と交流しました。



◆EXPO

多くの協賛会社にご協力いただき、バイクのメカニック、スポーツ用品や食品の物販などを出展しました。参加者だけでなく応援の方も各ブースに足を運んでいました。

また、横浜市スポーツ医科学センターが、市内スポーツイベント等で行っている「出張クリニック」を大会参加者向けに開催しました。横浜市スポーツ医科学センターは大会前の運動負荷試験の実施にも協力をいただきました。



◆メディカル体制

参加選手が安心して競技を行えるよう、医師・看護師やライフセーバー・救急救命士・審判員などが連携して、安全な大会運営をサポートしました。

特に、医師・看護師については横浜市医師会と市内救急医療機関(8医療機関)が連携し、初期救急から二次・三次救急まで幅広い事案に対応できる体制を整備し、参加選手の間診チェック及び救護対応(55件、うち1件救急搬送)を行いました。



◆警備体制

神奈川県警金沢警察署と事前協議を重ねて、警備体制や告知方法等の準備を進めて参りました。

大会当日は、バイクコースとなる公道を交通規制するため、警備業横浜協同組合や横浜市スポーツ推進委員と連携し、選手が安心して安全に競技ができる環境を整えました。

競技状況やコース周辺の状況を八景島内の大会本部と福浦二丁目公園内の公道本部が連携を図り、把握しつつ警備コントロールを実施しました。



◆ボランティア/沿道警備補助

ボランティア団体(よこはま2002、かながわスポーツボランティアバンク)や日本体育大学と横浜国立大学のトライアスロン部の学生が、大会運営(選手受付、計測チップ配布、エイドステーション、フィニッシュ)のボランティアを行いました。



◆横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

交通規制後のコース設営や、レース中での沿道での競技の見守り、歩行者の誘導等に協力をいただき、大会を支えていただきました。



その他、多くの方々にご協力頂きました。本当にありがとうございました。



◆横浜子どもスポーツ基金活用事業 ～第4回横浜シーサイドトライアスロン大会◆

子どもスポーツ基金を活用して、キッズトライアスロン教室の開催や第4回横浜シーサイドトライアスロン大会において、パラの部及びペアチャレンジの部で子どもたちが大会に参加しました。また、トライアスリートの上田藍選手との交流事業も実施しました。

名称	キッズトライアスロン教室
日時	平成25年8月10日(土) 9:30~13:00
場所	横浜市立大学金沢八景キャンパス 総合体育館内 温水プール・第二体育室・会議室
講師	若杉 摩耶文 (湘南ベルマーレトライアスロンチーム育成コーチ)
参加者	小学生23名



小学生を対象にスイムとランコンディショニングを実施しました。

前半はスイム。コースロープを取り、オープンウォーターの空間を作り実施しました。最初は水に慣れることから始め、集団泳やブイなどの目標物を回るトライアスロン特有のスイムを体験しました。講師の若杉さんのアドバイスをどんどん吸収して泳いでいました。



後半はランコンディショニング。体を効率よく動かすためのエクササイズやラダーを使ってのエクササイズ等を実施しました。子どもたちは元気いっぱい動いていました。



名 称	第4回横浜シーサイドトライアスロン大会・ペアチャレンジの部
日 時	平成25年9月29日（日） 競技 9:30～13:30
オリンピック	上田藍選手（シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター） ※2012年ロンドンオリンピック日本代表、2013年世界デュアスロン選手権優勝
参加者	ペアチャレンジの部 申込：36名／18組（伴走3名） 出走数：34名／17組（伴走3名） ※内 車椅子参加者4名／4組

●ペアチャレンジの部

コースは、段差や勾配があるため、車椅子で走るための対策をおこないました。また、気象によりスリップや勾配でスピードがでる恐れもあるため、レース中は、車椅子の後方に学生と一緒に走り、登り坂や下り坂でのスピードを一緒にコントロール・調整するなど安全対策をしました。パラトライアスロンを体験してもらうため、レース用のヘルメットを用意しました。



●エリート選手との交流

トークショーは、ゲストの上田選手と一緒にレースに出場した感想や、未来のオリンピック選手となる子どもたちへメッセージを伝えました。表彰式は、子どもたち全員へメダルの授与、記念撮影を行いました。また、子供たちからの質問などを上田選手は、やさしく笑顔で対応していただき、トップアスリートと子供たちとの交流をしました。



●横浜子どもスポーツ基金普及啓発

参加Tシャツやフィニッシャータオルに「横浜子どもスポーツ基金」のロゴマークを印刷して配布しました。参加者より「横浜の大会はタオルやTシャツも彼女のイラストで、これがすごくいいんですよ～」とのコメントをいただきました。



参加者Tシャツ



フィニッシャータオル



**YOKOHAMA
SEASIDE
TRIATHLON**